



特別展 ウメサオタダ才展

2011年3月10日(木)ー6月14日(火) 特別展示館

【開館時間】午前10時ー午後5時(入館は午後4時30分まで)
【休館日】毎週水曜日(ただし、5月4日(水・祝)は開館)

【無料観覧日】3月13日(日)、5月5日(木・祝)
【主催】国立民族学博物館
【協力】財団法人千里文化財団



国立民族学博物館

読売新聞 1976年撮影

関西から



文化力
POWER OF CULTURE

ウメサオタダ才展

知的先覚者の軌跡

国立民族学博物館を創設し、初代館長をつとめた梅棹忠夫は、つねに分野をこえて、平易なことばで、斬新な知見をしめしてきました。本特別展では、かれの足跡をたどりながら、その思想の先見性や実効力をあらためて発見していただきます。タイトルのウメサオタダ才というカタカナ書きは、そうした先覚性や革新性をあらわしています。

名著『知的生産の技術』(1969年岩波新書)ができるまでの、カード、こざね(メモの連なり)、直筆原稿など、すべてを初公開します。また、著作集全22巻をおもにとりあげ、どのような観察記録から生まれたものかを復原します。

日本のいかなる問題も、もはや日本だけで解決することのできない現代において、わたしたちにもっとも必要なことのひとつは、世界に対する好奇心ではないでしょうか。

あくなき好奇心を發揮し、世界をあさるき、ひらめきをのがさず、未来を想像し、文明論を構築していく、知的先覚者の軌跡。それはみなさん一人ひとりに、混迷の時代をこえて未来をつくる羅針盤をきつとしめしてくれるにちがいありません。ウメサオタダ才の世界のあるきかたのツボを、どうぞ、つかまえにきてください。



1963-64年 京都大学アフリカ学術調査隊
人類班のエヤシ基地にて 隊員たち



カナかなタイプライター(1973年)
梅棹は、1970年以来、1台でカナ、かな、ローマ字のうてる縦がき電動タイプライターの開発にかかりわった。商品化されなかったので、世界にこれ1台しかない。(ブレーザー工業株式会社所蔵)

京都大学カラコラム・ピンズ・クシ学術探検隊の個人装備用木箱とフィールド・ノート(フィールド・ノートは、モンゴル1944-46年、アフガニスタン1955年、アフリカ1963-64年のもの)



モンゴル図譜(1944~'45年)
梅棹は、蒙古善隣協会西北研究所のエクスペディションに参加し、A5判の画用紙に、おおくの生活用品をえがいて記録している。これらのスケッチは、『有蹄類動物之生態学的研究』などと偽装した箱にいれて無事に持ちかえることができた。



『知的生産の技術』構想時の「こざね」(1960年代)
梅棹は、要点を一枚ずつ小さな紙に書きつけ、それを配列してホッチキスでとめて部品をつくり、文章にしあげてゆく、という方法を提倡した。よろいを構成する部品の名前をとって、こざね法とよばれている。



関連イベント

企画展

「民族学者 梅棹忠夫の眼」
3月3日(木)～6月14日(火)
本館展示場

みんぱくゼミナール

3月19日(土)
4月16日(土)
5月21日(土)

みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

毎週日曜午後

研究公演

5月5日(木・祝)予定
※要事前申込

[観覧料] 一般 420円(350円)、高校・大学生 250円(200円)、小・中学生 110円(90円)

()は、20名以上の団体料金、大学等*の授業でご利用の方、授業レポート等の作成を目的とする高校生、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書等)*大学等は、短大、大学、大学院及び専修学校の専門課程 *自然文化園(有料区域)を通行される場合は、自然文化園各ゲート脇の券売機で当館(国立民族学博物館)の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。 *障害者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに無料で観覧できます。また、毎週土曜日は、小学生・中学生・高校生は無料で観覧できます。ただし、自然文化園を通行される場合は、同園の入園料が別途必要です。

交通のご案内 *国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・万博記念公園内にあります。

大阪モノレール 万博記念公園駅 下車徒歩約15分 徒歩場をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。／＼公園東口駅 下車徒歩約15分([公園東口駅]からは自然文化園を通行せずに来館できます。)

バス [近鉄バス](阪大本部前行き)阪急茨木市駅から約20分・JR茨木駅から約10分[日本庭園前]下車、徒歩約15分[阪急バス](万博記念公園駅経由千里中央行き)・阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分[自然文化園・日本庭園中央]下車、徒歩約5分

タクシー 万博記念公園[日本庭園前駐車場]まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

自動車 駐車施設が無いため、みんぱくへの車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り[日本庭園前駐車場]から徒歩約5分([日本庭園前駐車場])をご利用の方は、[日本庭園前ゲート]横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



[お問い合わせ先] 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号 TEL:06-6876-2151(代)

<http://www.minpaku.ac.jp/>

